

セゾン資産形成の達人ファンド

運用報告書(全体版)

第18期(決算日 2024年12月10日)

■当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	無期限
運用方針	一貫した「長期投資」という投資哲学に基づいて運用されているファンドへの投資を通じて、長期的な資産の成長を図ります。投資にあたっては、国内外の投資信託証券の中から、資産規模、運用実績、コストなどの面ならびにファンドの運用方針、投資態度をリサーチの上、投資を行います。原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する国内外の投資信託証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。 ⑤一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン資産形成の達人ファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

この度、第18期決算を行いましたので、当期の運用状況をご報告いたします。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を、変わらずに行って参りましたことを併せてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期資産形成のお役に立てるよう、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

SAISON
ASSET
MANAGEMENT

セゾン投信

■お問い合わせ先

セゾン投信株式会社 お客様窓口

〒170-6048 東京都豊島区東池袋3-1-1

[ホームページ] <https://www.saison-am.co.jp>

[電話番号] 03-3988-8668

[営業時間] 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

運用担当者の紹介

セゾン資産形成の達人ファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、厳選したアクティブファンドへの投資を行うことにより、受益者の皆さまの長期の資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、チームで運用を行っています。

執行役員、マルチマネージャー運用部長、ポートフォリオマネージャー

瀬下 哲雄

主な役割 投資戦略の策定、具体的投資方針の策定

運用経験年数 18年

経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信(株)入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネージャー、2014年から運用部長、2021年からマルチマネージャー運用部長、2024年から現職。



◎受賞実績



「R&Iファンド大賞2024」 優秀ファンド賞を受賞しました。

格付投資情報センター（R&I）の選定する「R&Iファンド大賞2024」において「投資信託10年部門外国株式コア」で「優秀ファンド賞」を受賞しました。
受賞は11年連続となります。



「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2024」 最優秀ファンド賞を受賞しました。

「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2024」において、投資信託部門 評価期間「10年」/分類「ミックスアセット 日本円 フレキシブル型」で「最優秀ファンド賞」を受賞しました。
受賞は10年連続となります。



「“新NISA成長投資枠”WA優秀ファンド賞」 優秀ファンド賞を受賞しました。

「“新NISA成長投資枠”WA優秀ファンド賞」において、「国際株式型(グローバル)部門」で「優秀ファンド賞」を受賞しました。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		為替レート	投資信託					投資証券 組入比率	米 国 オ ポ レ チ ニ ティ	AB 米 国 株 式 集 中	BBH ・ コ ア ・ セ レ ク ト	FSSA ア ジ ア	Vontobel mtx エ マ ー ジ ン グ	S/G グ ロ ー バ ル エ マ ー ジ ン グ	Vontobel 米 国 株 式	純資産 総 額	
	(分配)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率	米 ド ル (円)		受 益 証 券 組 入 比 率	コ ム ジ ェ ス ト ・ ヨ ー ロ ッ パ	コ ム ジ ェ ス ト ・ エ マ ー ジ ン グ	ス パ ー ク ス ・ 集 中 投 資	ス パ ー ク ス ・ 長 期 選 取										コ ム ジ ェ ス ト ・ 日 本 株 式
第14期 (2020年12月10日)	円	円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	百万円	
第15期 (2021年12月10日)	26,279	-	16.0	22,176	13.4	104.28	52.3	26.1	13.7	2.9	5.0	4.6	46.0	23.0	9.5	9.2	4.3	-	-	-	123,813
第16期 (2022年12月12日)	32,402	-	23.3	29,030	30.9	113.47	48.8	26.8	10.5	2.9	4.4	4.3	49.4	21.4	10.0	10.0	8.0	-	-	-	185,489
第17期 (2023年12月11日)	31,475	-	△2.9	29,668	2.2	136.76	43.1	26.4	5.0	3.0	4.4	4.5	55.1	21.3	9.5	9.6	10.8	3.9	-	-	215,903
第18期 (2024年12月10日)	36,838	-	17.0	36,196	22.0	145.40	41.4	25.7	4.0	2.8	4.4	4.3	56.9	21.9	10.1	10.2	11.1	3.7	-	-	280,280
第18期 (2024年12月10日)	44,473	-	20.7	48,304	33.4	151.54	39.3	23.3	3.5	3.7	4.8	4.0	59.0	21.3	9.3	9.2	10.9	3.5	2.4	2.3	362,037

- ・基準価額は1万口当たりです。
- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指数として記載しております。参考指数は、設定日(2007年3月15日)の値を10,000として委託会社が計算したものです。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。
- ・騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- ・組入比率は、対純資産総額です。組入比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・為替レート(米ドル(円))は、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用しています。
- ・純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		参考指数		投資信託 受益証券 組入比率	コ ム ジ ェ ス ト ・ ヨ ー ロ ッ パ	コ ム ジ ェ ス ト ・ エ マ ー ジ ン グ	ス パ ー ク ス ・ 集 中 投 資	ス パ ー ク ス ・ 長 期 選 取	コ ム ジ ェ ス ト ・ 日 本 株 式	投資証券 組入比率	米 国 オ ポ レ チ ニ ティ	AB 米 国 株 式 集 中	BBH ・ コ ア ・ セ レ ク ト	FSSA ア ジ ア	Vontobel mtx エ マ ー ジ ン グ	S/G グ ロ ー バ ル エ マ ー ジ ン グ	Vontobel 米 国 株 式	騰落率	
	円	%	期 中 騰 落 率	%																
(期首) 2023年12月11日	36,838	-	36,196	-	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
12月末	38,117	3.5	36,928	2.0	41.4	25.7	4.0	2.8	4.4	4.3	56.9	21.9	10.1	10.2	11.1	10.9	3.6	-	-	-
2024年 1月末	39,466	7.1	39,034	7.8	42.0	26.3	3.9	2.9	4.6	4.3	56.2	22.1	10.0	10.1	10.4	3.6	-	-	-	-
2月末	42,006	14.0	41,125	13.6	42.4	26.9	3.8	2.8	4.7	4.3	55.7	21.9	10.0	10.0	10.2	3.6	-	-	-	-
3月末	42,978	16.7	42,631	17.8	42.5	26.7	3.7	2.8	4.8	4.4	55.8	21.8	10.0	10.0	10.2	3.6	0.2	-	-	-
4月末	42,604	15.7	42,722	18.0	41.3	25.8	3.7	3.0	4.7	4.1	56.8	21.6	9.9	10.1	10.8	3.7	0.7	-	-	-
5月末	43,647	18.5	44,432	22.8	41.4	25.8	3.8	3.0	4.8	4.1	56.8	21.7	9.6	10.0	10.6	3.7	1.1	-	-	-
6月末	45,600	23.8	46,870	29.5	41.0	25.3	3.8	3.2	4.7	4.0	57.2	21.3	9.8	10.2	10.9	3.7	1.4	-	-	-
7月末	43,025	16.8	44,460	22.8	41.3	25.0	3.7	3.6	4.8	4.2	57.0	20.9	9.9	10.1	10.8	3.6	1.8	-	-	-
8月末	42,049	14.1	43,507	20.2	41.7	25.3	3.6	3.7	4.9	4.2	56.4	20.4	9.8	10.0	10.7	3.5	2.0	-	-	-
9月末	43,200	17.3	44,158	22.0	41.9	25.3	3.7	3.9	4.8	4.2	56.4	19.8	9.2	9.3	11.2	3.6	2.3	1.0	-	-
10月末	44,490	20.8	47,449	31.1	40.2	24.4	3.6	3.6	4.6	4.0	58.2	20.7	9.1	9.2	11.0	3.6	2.4	2.2	-	-
11月末	43,592	18.3	47,180	30.4	39.1	23.2	3.5	3.7	4.7	4.0	59.0	21.4	9.4	9.3	10.7	3.5	2.3	2.3	-	-
(期末) 2024年12月10日	44,473	20.7	48,304	33.4	39.3	23.3	3.5	3.7	4.8	4.0	59.0	21.3	9.3	9.2	10.9	3.5	2.4	2.3	-	-

- ・騰落率は、期首比です。
- ・組入比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

当期の運用状況と今後の運用方針

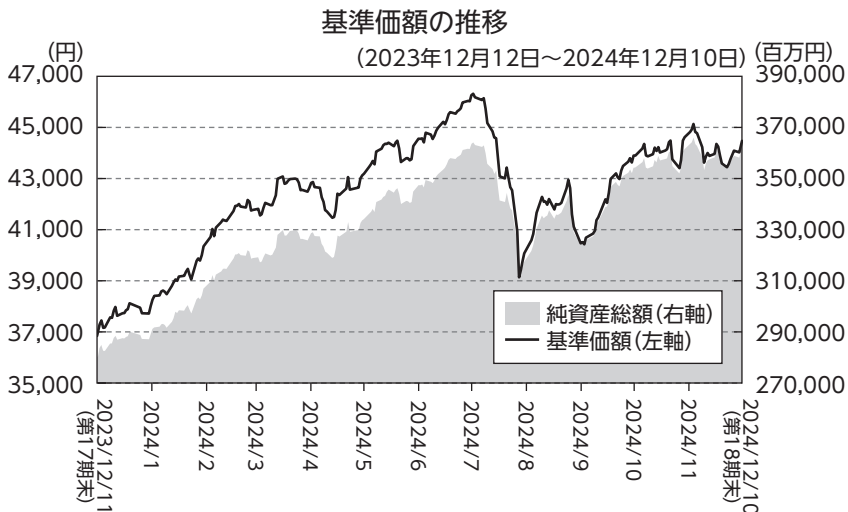
期中の基準価額等の推移

当ファンドの第18期(2023年12月12日～2024年12月10日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、2023年12月14日に37,159円の最安値を、2024年7月11日に46,319円の最高値を付け、当期末の基準価額は44,473円でした。設定から当期末までの基準価額の騰落率は344.7%、当期の騰落率は20.7%でした。

【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安値	37,159	2023年12月14日
高値	46,319	2024年7月11日



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。
- ・表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

【基準価額の主な変動要因】

当期は、全ての株式ファンドの上昇と対ドルでの円安が基準価額の上昇要因となりました。投資先の株式ファンドのなかでは、欧州の株式に投資する「コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)」、米国の株式に投資する「バンガード 米国オポチュニティファンド」、「BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト」、「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」が特に基準価額の上昇に貢献しました。

参考指数やベンチマークとの対比では、「スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)」、「スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)」が銘柄選択効果により参考指数を上回りましたが、上記以外のファンドは、銘柄選択の影響により参考指数やベンチマークを下回りました。

< 基準価額のプラス要因 >

バンガード 米国オポチュニティファンド (米ドル)
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 80 (適格機関投資家限定) (円)
対ドルでの為替レート (円安)
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コア・セレクト (米ドル)
アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ (米ドル)
FSSA アジア・パシフィック株式ファンド (米ドル)
スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定) (円)
コムジェスト日本株式ファンド (適格機関投資家限定) (円)
スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定) (円)
フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ (米ドル)
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド 90 (適格機関投資家限定) (円)
フォントベル・ファンド-USエクイティ・オリティ・グロース (米ドル) ※2
シュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド (米ドル) ※1

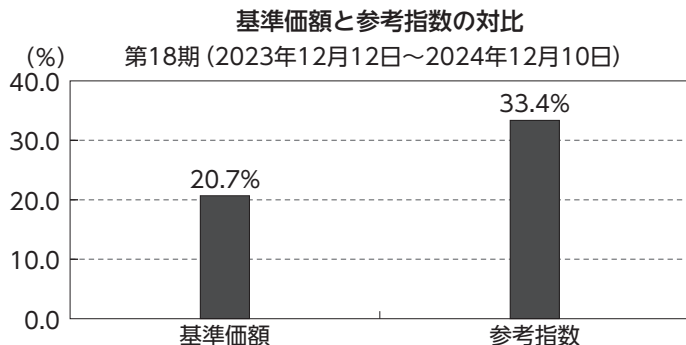
期中騰落率
20.7%

※1：2024年3月25日に組み入れ開始 ※2：2024年9月27日に組み入れ開始

2024年11月28日より、「FSSAアジア・フォーカス・ファンド」は「FSSAアジア・パシフィック株式ファンド」に、「シュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンド」は、「シュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」に名称が変わりました。なお、両ファンドとも運用方針に変更はありません。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を利用して円換算しております。

当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き、長期の成果だけに焦点をあて、投資先ファンドを通じて個別銘柄の価値を見極めながら、株式への投資比率を高位に保ち、幅広く国際分散投資を行いました。

当期は、3月に投資機会の相対的な大きさを勘案して新興国地域への目標投資比率をわずかに引き上げて、米国への目標投資比率をわずかに引き下げました。同時に、経営者の質を重視して新興国市場の株式に投資する「スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」への投資を開始し、「FSSAアジア・パシフィック株式ファンド」、「コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90」、「フォントベル・ファンドーmtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ」の目標投資比率を引き下げました。また、日本株へ投資するファンドにおいて、相対的な信頼度や市場環境を勘案して「スパークス・集中投資・日本株ファンドS」への目標投資比率を小幅に引き上げ、「スパークス・長期厳選・日本株ファンド」と「コムジェスト日本株式ファンド」への目標投資比率を小幅に引き下げました。

9月には米国で長期間高い成長が期待できる企業のほか、生活必需品関連企業などの利益の予測可能性が高い企業の株式に投資する「フォントベル・ファンドーUSエクイティークオリティ・グロース」への投資を開始し、10月にかけて、「アライアンス・バーンスタイン SICAVーコンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」、「BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト」、「バンガード 米国オポチュニティファンド」との一部入れ替えを行いました。

上記以外では目標投資比率の変更は行わず、1月にご解約が増加したことを受けて一部のファンドを売却したほかは、積立などのご購入により皆さまからお預かりした資金を利用して、新たに組み入れたファンドや目標比率を引き上げたファンド、相対的に値動きが振るわなかったことにより目標投資比率と投資比率の乖離が大きくなったファンドを中心に購入を行いました。

今期は、米国で「フォントベル・ファンドーUSエクイティークオリティ・グロース」、新興国市場で「スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド」の組み入れを行ったことにより、長期的な視点で企業の価値と価格の関係を重視して投資を行う一貫した方針のもとで、より幅広い投資機会を活用できるようになったと考えています。

投資環境

【株式市場の概況】

株式市場は米国を中心に上昇しました。

米国は景気が底堅く推移するなかで、金融セクターなどが上昇したほか、人工知能(AI)の普及による収益拡大期待が高まったことを受けて情報技術セクターなどが上昇しました。欧州は景気の低迷が続いているものの、政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。日本は金利が上昇していくとの見方が広がったことを背景に金融セクターを中心に上昇しました。新興国は、中国が政府の景気刺激策への期待が高まって終盤に上昇したほか、AI関連投資拡大の恩恵を受けてTSMCが上昇した台湾や、経済の成長期待が維持されたインドが上昇しました。

セクター別では、AI関連投資の拡大やAI普及による業績拡大期待の高まりを受けて情報技術やコミュニケーション・サービスが大きく上昇したほか、米国で景気の先行きに対する楽観的な見方が広がったことを受けて金融が大きく上昇しました。

期の初めは、米国や欧州で政策金利の引き下げへの期待が高まるなかで上昇しました。その後は、米国や中国で景気の先行きに対する明るい見方が広がったことを受けて上昇しました。4月には、米国で物価上昇が続くことへの警戒が高まったことを背景に、政策金利の引き下げ観測が後退して下落したものの、その後は政策金利の引き下げへの期待が維持されたことや、人工知能(AI)の普及による企業業績拡大への期待が高まったことを受けて上昇しました。8月には、米国で景気減速への警戒が高まって下落する局面があったものの、その後は米国で政策金利の引き下げ観測が高まって上昇しました。9月は米国とユーロ圏で政策金利が引き下げられたことや、中国で景気支援策が打ち出されたことを受けて上昇しました。10月は中東情勢の緊迫化懸念が高まったことや、米国で財政赤字の拡大懸念が高まったことを受けて、方向感のない展開となりました。11月以降は米大統領選挙でトランプ前大統領が当選したことを受けて、米国で景気の先行きに対する明るい見方が広がって上昇しました。

【為替市場の概況】

円は下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。

引き続き、金利が高い通貨を買って金利が低い通貨を売るキャリートレードが市場の動きを主導するなかで、日本ではマイナス金利政策が終了し、その後も政策金利が引き上げられたものの、米国やユーロ圏での政策金利の引き下げペースが想定されていたよりも緩やかなものとなり、金利差が縮小していくとの見方が後退したことを背景に、円は対ドル、対ユーロで下落しました。ドルは米国で景気が底堅く推移するとともに、先行きに対する明るい見方が広がったことを背景にユーロに対して上昇しました。

期の初めは、日本銀行が金融緩和策を早期に縮小するとの見方が強まったことを受けて円が上昇し、対ドル対ユーロで円高となりました。その後は、物価上昇が長期化するとの見方が強まったことを背景に、政策金利の引き下げ観測が後退してドルとユーロが上昇する一方で、実質賃金の伸びが低迷していることなどを背景に、金融緩和の長期化観測が高まって円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。3月には、日本銀行がマイナス金利政策や長期金利の抑制政策を終了したものの、同時に緩和的な金融政策を維持する方針を示したことを受けて、ドルやユーロとの金利差が縮小していくとの見方が後退して、対ドル対ユーロで円安となりました。5月には日本政府による為替介入が行われて円が上昇する局面があったほか、6月には日本銀行が金融緩和の縮小を進める方針を示したものの、ドルやユーロとの金利差が大きい状況が続くとの見方が維持されて対ドル対ユーロで円安となりました。7月には日本で金融緩和の縮小観測が高まり、7月末には政策金利が引き上げられたことを受けて円が上昇して、対ドル対ユーロで円高となりました。8月には日本の株式市場が大きく下落したことをきっかけに政策金利の引き上げ観測が後退して円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりましたが、その後は日本で政策金利の引き上げが意識されて円が上昇し、対ドル対ユーロで円高となりました。10月はユーロ圏で政策金利が引き下げられたものの、米国で景気の先行きに対する明るい見通しが広がり、ドルとの金利差が縮小するとの見方が後退したことを受けて円が下落し、対ドル対ユーロで円安となりました。11月は日本で物価上昇が続いていることを背景に政策金利の引き上げ観測が高まって円が上昇し、対ドル対ユーロで円高となりました。

組入ファンドと為替レートの動き

バンガード 米国オポチュニティファンド(米ドル建て)

バンガード 米国オポチュニティファンドの当期の騰落率^{*1}は23.18%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークであるラッセル3000種指数(配当込・税引後)の騰落率は34.26%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はバンガード 米国オポチュニティファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、バンガード 米国オポチュニティファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。
- * 2 バンガード 米国オポチュニティファンドの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、ラッセル3000種指数(配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ(米ドル建て)

アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの当期の騰落率^{*1}は22.58%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークであるS&P500指数(配当込・税引後)の騰落率は32.74%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はアライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、S&P500指数(配当込・税引後)の騰落率は当ファンドでの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト(米ドル建て)

BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクトの当期の騰落率^{*1}は23.03%でした。対応する期間^{*2}のS&P500指数(配当込)の騰落率は33.30%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はBBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクトの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクトの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクトの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、S&P500指数(配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



FSSAアジア・パシフィック株式ファンド

[旧名称：FSSAアジア・フォーカス・ファンド](米ドル建て)

FSSAアジア・パシフィック株式ファンドの当期の騰落率^{*1}は15.61%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークであるMSCIアジア・パシフィック・エクスジャパン・インデックス(配当込・税引後)の騰落率は20.88%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はFSSAアジア・パシフィック株式ファンドの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、FSSAアジア・パシフィック株式ファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 FSSAアジア・パシフィック株式ファンドの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、MSCIアジア・パシフィック・エクスジャパン・インデックス(配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



フロントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ(米ドル建て)

フロントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズの当期の騰落率^{*1}は16.41%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークであるMSCIエマージングマーケット・インデックス(配当込・税引後)の騰落率は16.59%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はフロントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、フロントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。
- * 2 フロントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、MSCIエマージングマーケット・インデックス(配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド

[旧名称：スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンド](米ドル建て)

スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンドの組入れ開始日(2024年3月25日)から期末までの騰落率^{*1}は4.49%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークであるMSCIエマージングマーケット・インデックス(配当込・税引後)の騰落率は9.11%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はスチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンドの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンドの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、MSCIエマージングマーケット・インデックス(配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



フォントベル・ファンドーUSエクイティークオリティ・グロース(米ドル建て)

フォントベル・ファンドーUSエクイティークオリティ・グロースの組入れ開始日(2024年9月27日)から期末までの騰落率^{*1}は2.99%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークであるS&P500指数(配当込)の騰落率は6.72%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はフォントベル・ファンドーUSエクイティークオリティ・グロースの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、フォントベル・ファンドーUSエクイティークオリティ・グロースの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。
- * 2 フォントベル・ファンドーUSエクイティークオリティ・グロースの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、S&P500指数(配当込)の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)(円建て)

コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は11.18%でした。対応する期間^{*2}のMSCIヨーロッパ・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)の騰落率は16.31%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)の基準価額は前日の市場の終値と当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出することとなっておりますので、MSCIヨーロッパ・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前の値と1営業日前の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して算出しています。



コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)(円建て)

コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は12.72%でした。対応する期間^{*2}のMSCIエマージングマーケット・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)の騰落率は21.96%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)の基準価額は前日の市場の終値と当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出することとなっておりますので、MSCIエマージングマーケット・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)の騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前の値と1営業日前の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して算出しています。



スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)(円建て)

スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率*1は21.39%でした。対応する期間*2の東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は20.42%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はスパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の基準価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)(円建て)

スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率*1は38.13%でした。対応する期間*2の東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は20.42%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はスパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)の基準価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)(円建て)

コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率*1は20.03%でした。対応する期間*2の東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は20.42%でした。

- * 1 当ファンドの基準価額の算定はコムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。
- * 2 コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)の基準価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、東証株価指数[TOPIX](配当込)の騰落率は当ファンドの計算期間における1営業日前のものを利用しています。



為替レートの推移

当期の対米ドルの為替レートは4.22%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)*でした。

* 当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は当ファンドの計算期間における投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。



今後の運用方針

引き続き、長期的な資産の成長だけに焦点をあて、一貫した姿勢で株式への投資比率を高位に保ってまいります。長期的に資産を成長させるために重要なことは、大きく資産を減らさないことだと認識しており、そのためには価値を重視した投資を行い、高値づかみを避けることが重要だと考えています。

当ファンドでは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを利用して、それぞれの地域で強みを持つ複数の投資先ファンドが、長期的な視点で個別銘柄の調査を行うことにより価値を見極めて、価値に対して割安と考えられる場合にのみ投資を行っています。

そのうえで、地域ごとの投資比率を市場全体に対する平均的な評価を反映する時価総額ではなく、投資対象となる企業の数と規模で表される投資機会の大きさを勘案して決定し、注目を集めている市場に過剰に投資することを避け、見過ごされている市場の魅力的な投資機会も活用することを目指しています。

当ファンドの騰落率は、参考指数を下回る状況が続いていますが、資産を長期的に成長させるためには、価値と価格の関係に焦点をあてて投資を行うことが最も重要との認識に変わりはありません。また、分散投資の長期的な成果は、一時的に市場環境が逆風となっている地域や分野へも継続して投資することにより得ることができると認識しております。

よって、市場の動きを追いかけずに一貫した姿勢を維持することにこそ、投資を継続していただいている皆さまの資産の長期的な成長を目指す、当ファンドの存在意義があると認識しており、引き続き同じ方針で運用してまいります。

ポートフォリオマネージャー 瀬下 哲雄

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第18期
	2023年12月12日～2024年12月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	34,472

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2023年12月12日~2024年12月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	243円 (133) (95) (15)	0.572% (0.313) (0.223) (0.036)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ・ 委託した資金の運用の対価 ・ 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	243	0.572	

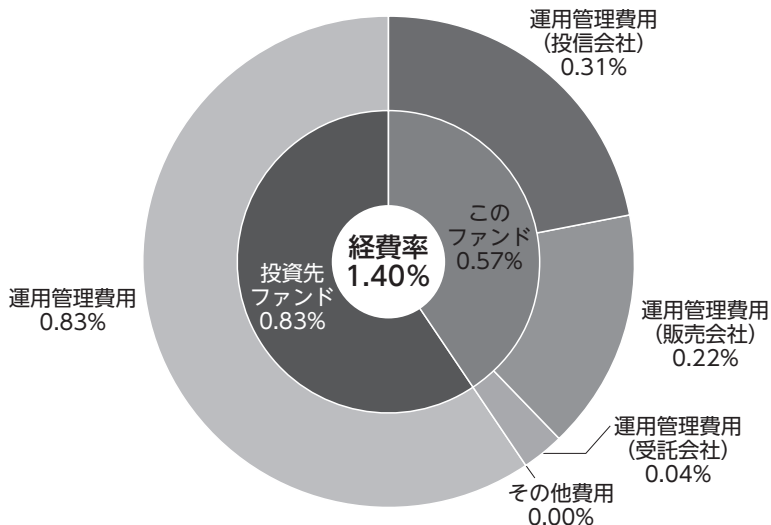
期中の平均基準価額は42,412円です。

- ・ 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・ 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・ 財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・ 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・ 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

<参考情報>

経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は1.40%です。



経費率(①+②)	1.40%
①このファンドの費用の比率	0.57%
②投資先ファンドの経費率	0.83%

- ・①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- ・②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。
- ・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- ・各比率は、年率換算した値です。小数点以下第2位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- ・①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- ・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
- ・投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

期中の売買及び取引の状況 (2023年12月12日から2024年12月10日まで)

投資信託受益証券		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80 (適格機関投資家限定)	1,944,574	4,750,000	160,350	354,999
	コムジェスト・エマージングマーケッツ・ ファンド90 (適格機関投資家限定)	-	-	173,026	190,000
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS (適格機関投資家限定)	482,104	3,620,000	-	-
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド (適格機関投資家限定)	3,683	25,000	-	-
	コムジェスト日本株式ファンド (適格機関 投資家限定)	30,846	60,000	-	-
投資証券		買付		売付	
外国	AIL ランド	口数	千米ドル	口数	千米ドル
	バンガード 米国オポチュニティファンド	2	3,000	7	11,300
	FSSAアジア・パシフィック株式ファンド	505	13,000	-	-
	スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマ ージング・マーケッツ・オールキャップ・ファンド	5,512	55,400	-	-
	ルク セン ブル ク	口数	千米ドル	口数	千米ドル
	アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセ ントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	126	6,150	409	20,850
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ-BBH・コ ア・セレクト	23	1,271	378	21,750	
フォントベル・ファンド-mtxサステナ ブル・エマージング・マーケット・リー ダーズ	11	1,050	-	-	
フォントベル・ファンド-USエクイ ティ・クオリティ・グロース	179	53,250	-	-	

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満を切り捨てて表示しております。

利害関係人との取引状況等 (2023年12月12日から2024年12月10日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

・利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年12月12日から2024年12月10日まで)

該当事項はありません。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2023年12月12日から2024年12月10日まで)

該当事項はありません。

組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組入れた円建てファンドの明細 (2024年12月10日現在)

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末			
	単位数又は口数	単位数又は口数	評 価 額	比 率	
株式ファンド					
	千口	千口	千円	%	
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)	34,307,183	36,091,407	84,334,790	23.3	
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)	10,519,137	10,346,110	12,569,490	3.5	
スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)	1,210,345	1,692,450	13,551,278	3.7	
スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)	1,868,143	1,871,826	17,209,762	4.8	
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	6,527,857	6,558,703	14,537,366	4.0	
小 計	□ 数 ・ 金 額	54,432,666	56,560,498	142,202,688	39.3
	銘 柄 数	5	5	-	
合 計	□ 数 ・ 金 額	54,432,666	56,560,498	142,202,688	39.3
	銘 柄 数	5	5	-	

・千単位未満は切り捨てて表示しております。

・比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。

・比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細 (2024年12月10日現在)

ファンド名	期首(前期末)	当 期 末			比 率	
	単 位 数 又は口数	単 位 数 又は口数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
株式ファンド						
	千口	千口	千米ドル	千円	%	
バンガード 米国オポチュニティファンド	316	310	509,934	77,275,512	21.3	
アライアンス・バースタイン SICAV・コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	4,445	4,162	222,621	33,736,031	9.3	
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ・BBH・コア・セレクト	4,072	3,716	220,540	33,420,734	9.2	
FSSAアジア・パシフィック株式ファンド	8,726	9,231	260,766	39,516,534	10.9	
フロントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ	836	848	84,007	12,730,430	3.5	
スチュワート・インバスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド	-	5,512	56,484	8,559,663	2.4	
フロントベル・ファンド-USエクイティ・クオリティ・グロース	-	179	54,859	8,313,406	2.3	
小 計	□ 数 ・ 金 額	18,396	23,962	-	213,552,313	59.0
	銘 柄 数	5	7	-	-	
合 計	□ 数 ・ 金 額	18,396	23,962	-	213,552,313	59.0
	銘 柄 数	5	7	-	-	

・邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

・千単位未満は切り捨てて表示しております。

・比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。

・比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

投資信託財産の構成

(2024年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	142,202,688	39.1
投 資 証 券	213,552,313	58.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等、 そ の 他	7,593,083	2.1
投 資 信 託 財 産 総 額	363,348,085	100.0

- ・金額の千円未満は切捨てて表示しております。比率は小数点以下第1位未満を四捨五入しております。
- ・当期末における外貨建資産(213,552,313千円)の投資信託財産総額(363,348,085千円)に対する比率は58.8%です。
- ・外貨建純資産は、期末の時価を我国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=151.54円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	363,348,085,955円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	7,593,083,339
投資信託受益証券(評価額)	142,202,688,874
投資証券(評価額)	213,552,313,742
(B) 負 債	1,310,687,874
未 払 解 約 金	321,285,499
未 払 信 託 報 酬	988,744,103
そ の 他 未 払 費 用	658,272
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	362,037,398,081
元 本	81,406,149,396
次 期 繰 越 損 益 金	280,631,248,685
(D) 受 益 権 総 口 数	81,406,149,396口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	44,473円

期首元本額	76,084,472,454円
期中追加設定元本額	15,287,784,036円
期中一部解約元本額	9,966,107,094円
1口当たり純資産額	44,473円

- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	53,615,546円
受 取 利 息	6,612,130
そ の 他 収 益	47,102,932
支 払 利 息	△ 99,516
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	56,017,140,202
売 買 益 損	59,849,823,208
売 買 損	△ 3,832,683,006
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,892,518,174
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	54,178,237,574
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	72,891,177,958
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	153,561,833,153
(配 当 等 相 当 額)	147,099,756,668
(売 買 損 益 相 当 額)	6,462,076,485
(G) 合 計 (D + E + F)	280,631,248,685
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	280,631,248,685
追 加 信 託 差 損 益 金	153,561,833,153
(配 当 等 相 当 額)	147,099,756,668
(売 買 損 益 相 当 額)	6,462,076,485
分 配 準 備 積 立 金	127,069,415,532
繰 越 損 益 金	0

- ・(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・(C)信託報酬等には信託報酬等に関する消費税等を含めて表示しています。
- ・(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ・分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	51,723,028円
(b) 経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	54,126,514,546
(c) 信託約款に定める収益調整金	153,561,833,153
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	72,891,177,958
(e) 分配対象収益(a+b+c+d)	280,631,248,685
(f) 分配対象収益(1万口当たり)	34,472.98
(g) 分 配 金	-
(h) 分配金(1万口当たり)	-

- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

お知らせ

当期中の約款変更について

2023年12月12日から2024年12月10日までの期間に実施した約款変更は以下のとおりです。

- 2024年3月9日付
投資対象とするファンドの新規組入れのため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
- 2024年9月11日付
投資対象とするファンドの新規組入れのため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

<組入投資対象ファンドの内容>

以下は、当ファンドが投資対象としている投資信託受益証券ならびに投資証券の運用状況です。
 なお、以下の各項目の注記につきましては、44頁をご参照ください。

1. バンガード 米国オポチュニティファンド

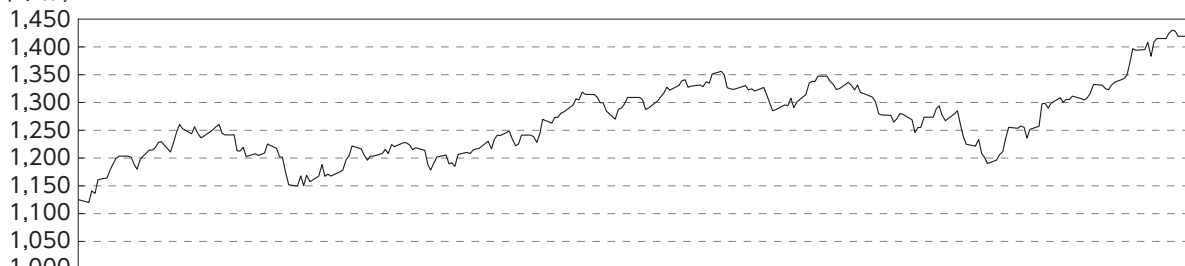
分類	インスティテューショナルシェア・クラス(米ドル建て)
ファンド形態	アイルランド籍/オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的	平均を上回る潜在的な収益成長力がありながら、その企業価値がまだ市場価格に反映されていない銘柄へ投資することで、ファンド資産の長期的成長を目指すファンドです。
運用方針/投資対象	ファンドは主に米国株式に投資し、アクティブ運用を行います。長期的な視点で調査を行い、企業のファンダメンタルズ・バリュエーション(本来価値)に対して市場価格が魅力的な銘柄を選出します。時価総額に関する制約はありませんが、主に中小型株に投資します。
信託期間	無期限
運用会社	バンガード・グローバル・アドバイザーズ・エルエルシー
運用委託先	プライムキャップ・マネジメントカンパニー
保管銀行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスティー・サービシズ(アイルランド)リミテッド
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・ファンド・アドミニストレーション・サービシズ(アイルランド)リミテッド
設定日	2002年4月8日
決算日	毎年12月31日

(2023年12月末日現在)

1. バンガード 米国オポチュニティファンド

■基準価額の推移

(米ドル)



(2022/12/31)

(2023/12/31)

■組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Eli Lilly & Co.	6.0
2	Tesla Inc.	2.9
3	NEXTracker Inc.	2.8
4	Alphabet Inc.	2.3
5	Flex Ltd.	2.3
6	BioMarin Pharmaceutical Inc.	2.0
7	Biogen Inc.	1.7
8	Xometry Inc.	1.6
9	Raymond James Financial Inc.	1.6
10	Jacobs Solutions Inc.	1.5
	組入銘柄数	257銘柄

■1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

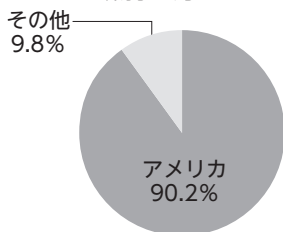
(ご参考)

■費用明細 (2023年12月31日現在)

ファンド財産	購入時	なし
維持手数料率	解約時	なし
運用管理費率(年率)(%)		0.85

・運用管理費率は、平均純資産総額に対する運用および管理等にかかる費用の総額の比率を示したものです。

■国・地域別配分



- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。
- ・資産別配分、通貨別配分については、開示されていないため記載しておりません。

2. アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ

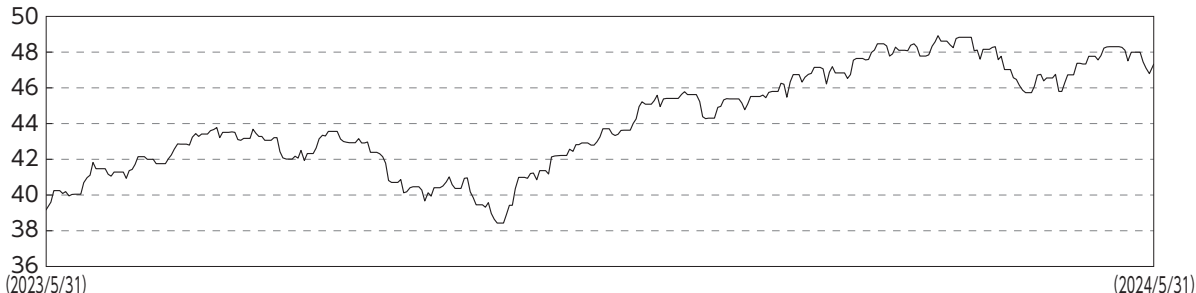
分類	クラスI
ファンド形態	ルクセンブルグ籍／オープン・エンド型外国投資法人
ファンドの目的 (基本方針)	投資元本の長期的成長を追求します。
主な投資対象・制限	当ファンドは、運用会社が非常に質が高く成長が期待できると判断する厳選された米国企業の株式およびワラント等その他の譲渡可能有価証券から構成される、アクティブ運用型の集中ポートフォリオに投資を行います。投資先となる企業は、その成長力、業務特性、収益成長、財務状況、および経験豊富な経営陣の評価に基づいて選定されます。
信託期間	無期限
運用会社	アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー
保管銀行／受託会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン(ルクセンブルグ) エス・シー・エイ
管理事務代行会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン(ルクセンブルグ) エス・シー・エイ
設定日	2013年12月23日
決算日	毎年5月31日

(2024年5月31日現在)

2. アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2024年5月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Microsoft Corp.	9.5
2	Mastercard, Inc. - Class A	9.5
3	Amazon.com, Inc.	8.7
4	Charles Schwab Corp. (The)	5.8
5	Constellation Brands, Inc. - Class A	5.2
6	Cooper Cos., Inc. (The)	5.0
7	Automatic Data Processing, Inc.	4.8
8	Eaton Corp. PLC	4.7
9	American Tower Corp.	4.6
10	Zoetis, Inc.	4.4
組入銘柄数		21銘柄

■1万口当たりの費用明細

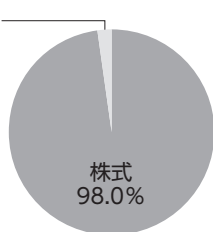
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

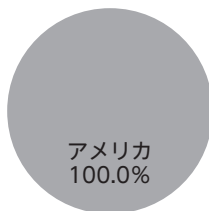
■費用明細 (2024年5月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

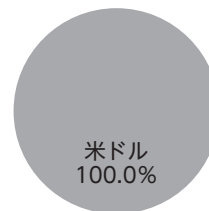
■資産別配分

現金等
2.0%

■国・地域別配分

アメリカ
100.0%

■通貨別配分

米ドル
100.0%

- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

3. BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト

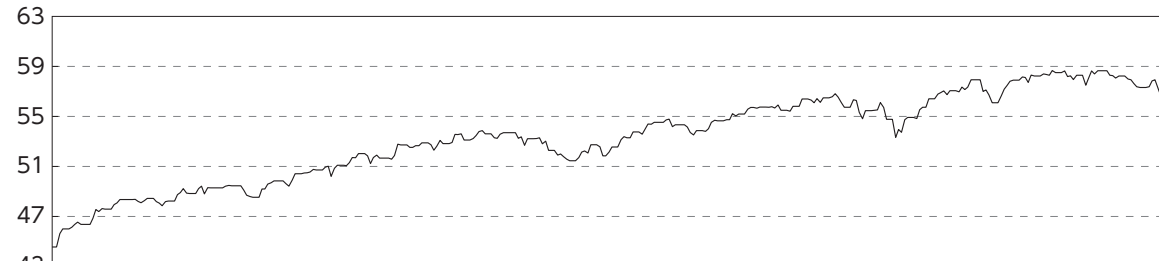
分類	クラスI
ファンド形態	ルクセンブルグ籍／会社型外国投資信託 UCTIS (SICAV)
ファンドの目的 (基本方針)	投資元本の長期的成長および長期にわたる魅力的なリターンの創出を目的とします。
主な投資対象・制限	当ファンドの投資対象は、主に米国株式市場に上場された中・大型株式が中心となっています。BBHが定めた6つの厳格な投資基準を満たす企業の株式をベースにユニバースを構成し、その中から割安と判断される約20-35のみを選択して集中投資を行います。
信託期間	無期限
運用会社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・コー
保管銀行／受託会社	J.P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ・ブランチ (J.P. Morgan SE, Luxembourg Branch)
管理事務代行会社	J.P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ・ブランチ (J.P. Morgan SE, Luxembourg Branch)
設定日	2009年1月28日
決算日	毎年10月31日

(2024年10月31日現在)

3. BBH・ルクセンブルグ・ファンズーBBH・コア・セレクト

■基準価額の推移

(米ドル)



(2023/10/31)

(2024/10/31)

■組入上位10銘柄

(2024年10月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Alphabet Inc (Class C)	7.4
2	Microsoft Corp	7.0
3	Oracle Corp	5.9
4	Mastercard Inc	5.9
5	Linde PLC	5.7
6	KLA Corp	5.1
7	Waste Management Inc	4.6
8	Booking Holdings Inc	4.5
9	Costco Wholesale Corp	4.5
10	Arthur J Gallagher & Co	4.4
	組入銘柄数	26銘柄

■1万口当たりの費用明細

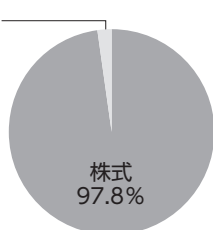
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

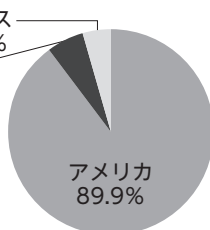
■費用明細 (2024年10月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	1.00

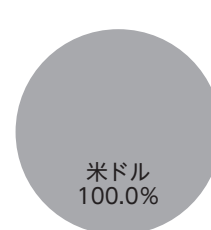
■資産別配分

現金等
2.2%

■国・地域別配分

スイス
4.3%
アイル
ランド
5.8%アメリカ
89.9%

■通貨別配分

米ドル
100.0%

- ・資産別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域別配分は、ファンドの投資資産に対する比率です。

4. FSSAアジア・パシフィック株式ファンド

(旧名称：FSSAアジア・フォーカス・ファンド)

分類	クラスIII
ファンド形態	アイルランド籍／会社型外国投資信託
ファンドの目的 (基本方針)	十分に分散されたポートフォリオを構築し、クオリティーが高いと判断する銘柄への選別投資を通じて、長期的な受託資産の保全と成長を目指します。
主な投資対象・制限	当ファンドの投資対象は、主にアジア太平洋地域で設立された企業、および、当該地域で主たる事業を営む上場企業で、十分な市場流動性を有する大型・中型の銘柄とします。適切な制限を設けることでポートフォリオにおける十分な分散を考慮しますが、参考ベンチマークを意識することなく運用チームが高いクオリティーを有すると判断する確信度の高い企業のみを組み入れます。
信託期間	無期限
運用会社	F S S A インベストメント・マネージャーズ
保管銀行／受託会社	H S B C コンチネンタル ヨーロッパ
管理事務代行会社	H S B C セキュリティーズ・サービスズ(アイルランド)ディーエーシー
設定日	2010年3月11日
決算日	毎年12月31日

*FSSAアジア・フォーカス・ファンドは2024年11月28日より「FSSAアジア・パシフィック株式ファンド」に名称を変更いたします。

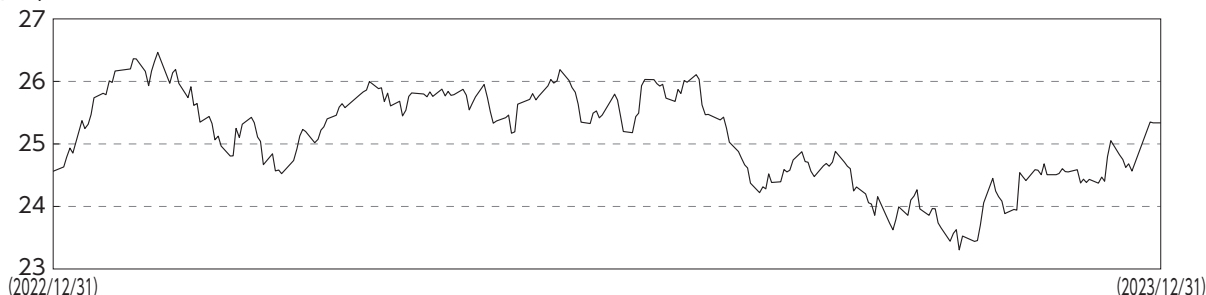
(2023年12月31日現在)

4. FSSAアジア・パシフィック株式ファンド

(旧名称：FSSAアジア・フォーカス・ファンド)

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2023年12月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	HDFC Bank	6.5
2	Samsung Electronics Co Ltd Pfd NV	5.4
3	China Mengniu Dairy Co., Ltd.	5.3
4	Colgate-Palmolive (India) Limited	4.9
5	Sony Group Corporation	4.6
6	CSL	4.6
7	ICICI Bank Limited	4.2
8	Singapore Telecommunications LTD	4.0
9	Uni-President China Holdings Ltd.	3.8
10	PT Unilever Indonesia Tbk	3.2
	組入銘柄数	43銘柄

■1万口当たりの費用明細

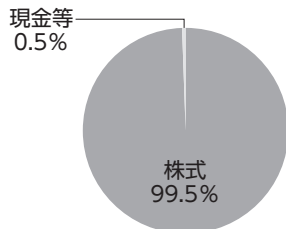
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

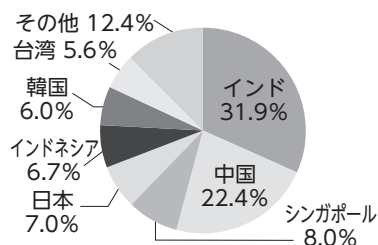
■費用明細 (2023年12月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.85

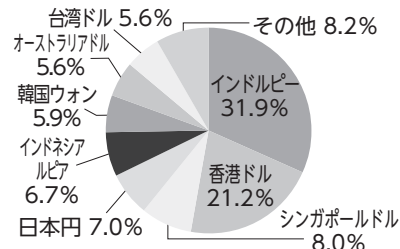
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

5. フォントベル・ファンドーmtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ

分類	Gクラス(米ドル建て)
ファンド形態	ルクセンブルグ籍／オープン・エンド会社型外国投資法人
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、主として新興国の株式に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主な投資対象・制限	主として新興国の企業の株式(預託証券を含む)の中で、持続的な成長が期待される銘柄に投資を行います。銘柄選定に際しては、投下資本利益率、業界内での競争優位性、株価の上昇余地、ESG基準の4つの軸で評価を行います。
信託期間	無期限
運用会社	フォントベル・アセット・マネジメント・アー・ゲー
保管銀行／受託会社	CACEISバンク、ルクセンブルグ・ブランチ*
管理事務代行会社	CACEISバンク、ルクセンブルグ・ブランチ*
設定日	2011年7月15日
決算日	毎年8月31日

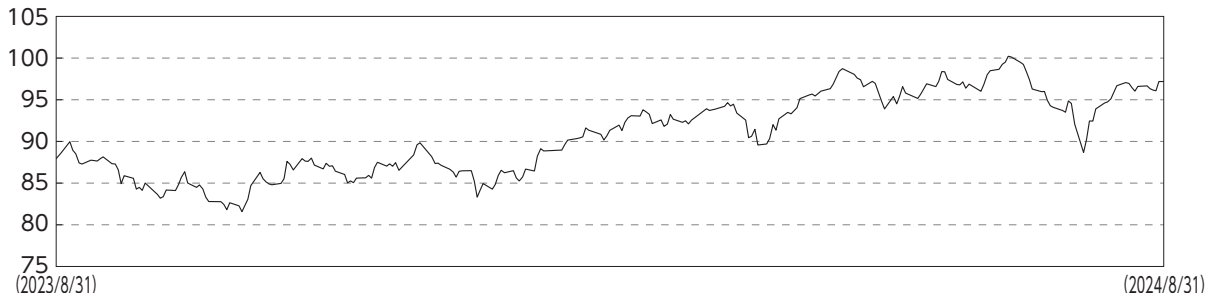
*2024年5月31日付で、CACEISインベスター・サービスズ・バンク・エス・エーは、CACEISバンク、ルクセンブルグ・ブランチへ統合されました。

(2024年8月31日現在)

5. フォントベル・ファンドーmtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ

■基準価額の推移

(米ドル)



■組入上位10銘柄

(2024年8月31日現在)

	銘柄名称	投資比率(%)
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	7.9
2	Samsung Electronics Co Ltd	6.1
3	Tencent Holdings Ltd	5.2
4	Infosys Ltd	3.5
5	State Bank Of India	3.4
6	Bajaj Auto Ltd	3.1
7	Aldar Properties Pjsc	2.8
8	Mercadolibre Inc	2.7
9	Kia Corp	2.2
10	Bank Mandiri Persero Tbk Pt	2.2
	組入銘柄数	53銘柄

■1万円当たりの費用明細

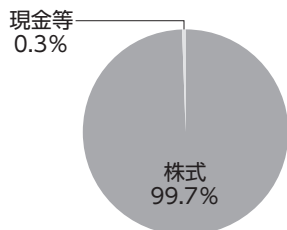
単位当たり費用明細については、開示されていないため記載しておりません。

(ご参考)

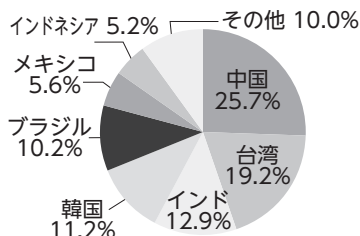
■費用明細 (2024年8月31日現在)

販売手数料	なし
信託財産留保金	なし
信託報酬(年率)(%)	0.65

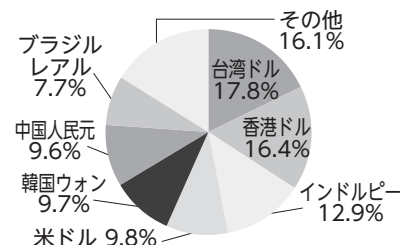
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する比率です。

6. スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド

(旧名称：スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・サステナビリティ・ファンド)

当ファンドは組入後の初回決算を迎えていないため、運用状況を記載していません。

7. フォントベル・ファンドーUSエクイティークオリティ・グロース

当ファンドは組入後の初回決算を迎えていないため、運用状況を記載していません。

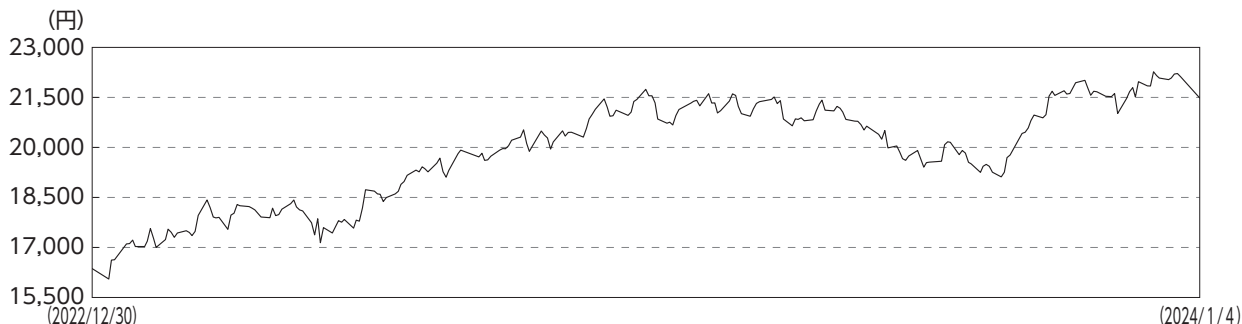
8. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信/海外/株式
ファンド形態	通貨：日本円/ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うものです。
主な投資対象・制限	「ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。 株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
投資態度	①当ファンドはファミリーファンド方式により「ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通して、主としてヨーロッパ諸国の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本としますが、相場環境によってはマザーファンドの組入比率の調整を行います。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④原則として、有価証券先物取引等を行いません。 ⑤原則として、有価証券の貸付は行いません。 ⑥当ファンドの運用を行うコムジェスト・アセットマネジメントは、マザーファンドの運用の指図に関する権限をコムジェスト・エス・エー社に委託します。
収益分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
信託期間	無期限
委託会社	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
設定日	2018年5月11日
決算日	毎年12月30日(年1回、休業日の場合は翌営業日)

(2024年1月4日現在)

8. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2022年12月31日～2024年1月4日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	177円 (110) (55) (11)	0.89% (0.56) (0.28) (0.06)
(b) 売買委託手数料 (株式会社)	1 (1)	0.01 (0.01)
(c) 有価証券取引税 (株)	4 (4)	0.02 (0.02)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1)	7 (7) (0) (0)	0.04 (0.04) (0.00) (0.00)
合計	189	0.96

期中の平均基準価額は19,797円です。

・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

・その他1は、外国株式に関する各種手数料等です。

・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年1月4日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

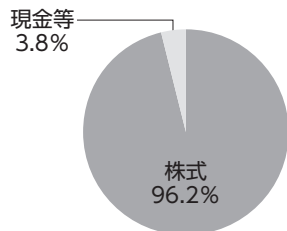
<ご参考> ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

■組入上位10銘柄

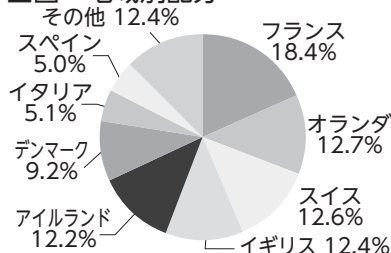
(2023年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	ASML HOLDING NV	7.7
2	NOVO NORDISK A/S-B	7.6
3	ACCENTURE PLC-CL A	4.6
4	ESSILORLUXOTTICA	4.6
5	LINDE PLC	4.5
6	EXPERIAN PLC	4.0
7	STRAUMANN HOLDING AG-REG	4.0
8	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	3.5
9	ALCON INC	3.5
10	DASSAULT SYSTEMES SE	3.2
組入銘柄数		36銘柄

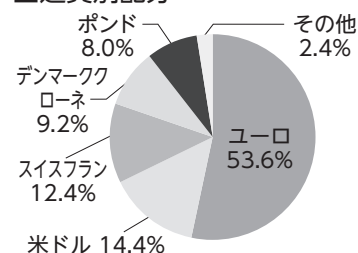
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

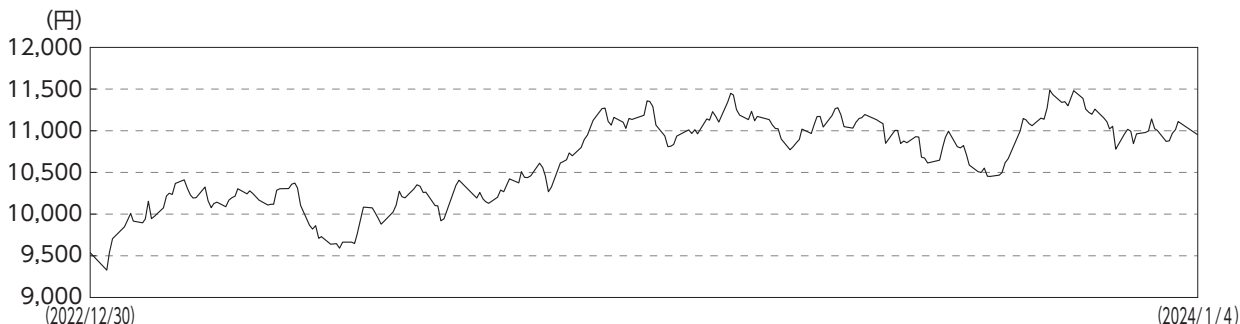
9. コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信/海外/株式
ファンド形態	通貨：日本円/ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うものです。
主な投資対象・制限	「ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。 株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
投資態度	①当ファンドはファミリーファンド方式により「ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通して、主として新興諸国の株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本としますが、相場環境によってはマザーファンドの組入比率の調整を行います。 ③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ④原則として、有価証券先物取引等を行いません。 ⑤原則として、有価証券の貸付は行いません。 ⑥当ファンドの運用を行うコムジェスト・アセットマネジメントは、マザーファンドの運用の指図に開する権限をコムジェスト・エス・エー社に委託しています。
収益分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
信託期間	無期限
委託会社	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
設定日	2018年5月11日
決算日	毎年12月30日(年1回、休業日の場合は翌営業日)

(2024年1月4日現在)

9. コムジェスト・エマーシングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2022年12月31日～2024年1月4日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	106円 (67) (33) (6)	1.00% (0.64) (0.31) (0.06)
(b) 売買委託手数料 (株 式)	4 (4)	0.04 (0.04)
(c) 有価証券取引税 (株 式)	4 (4)	0.04 (0.04)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他 1)	32 (17) (1) (14)	0.30 (0.16) (0.01) (0.14)
合 計	146	1.38

期中の平均基準価額は10,606円です。

- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・その他1は、外国株式に関する各種手数料等、インド株式におけるキャピタルゲイン課税等です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■組入資産の明細

(2024年1月4日現在)

	当期末
ニッポンコムジェスト・エマーシングマーケット マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

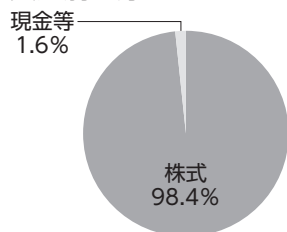
— <ご参考> ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド —

■組入上位10銘柄

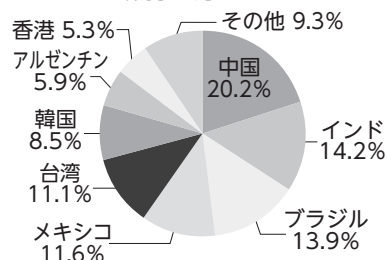
(2023年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	6.4
2	FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	6.3
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO.,LTD.	5.6
4	MERCADOLIBRE INC	4.9
5	HDFC BANK LIMITED	4.9
6	DELTA ELECTRONICS INC	4.7
7	Wal Mart de Mexico SAB de CV	4.3
8	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO.	3.8
9	LOCALIZA RENT A CAR	3.7
10	MARUTI SUZUKI INDIA LIMITED	3.7
組入銘柄数		37銘柄

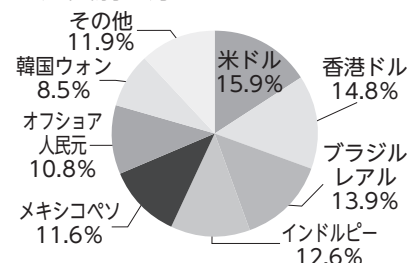
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

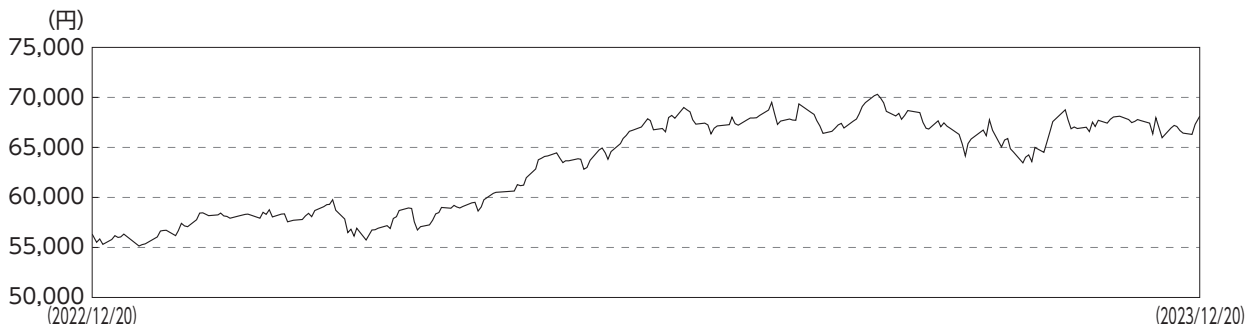
10. スパークス・集中投資・日本株ファンドS〈適格機関投資家限定〉

投資信託協会分類	追加型投信／国内／株式
ファンド形態	通貨：日本円／ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、スパークス集中投資戦略マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行います。
主な投資対象・制限	主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式に実質的に投資を行います。なお、株式等に直接投資する場合があります。 ①株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資は行いません。
投資態度	①マザーファンド受益証券への投資を通じて、ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断したわが国の株式に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。 ②株式への投資にあたっては、ファンダメンタル分析に基づくボトムアップ・リサーチに基づき、銘柄選定・ポートフォリオの構築を行い、長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。また、投資先企業の経営者とコミュニケーションを図り、企業価値の向上を促すための実質的な株主として行動することがあります。 ③マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。ただし、資金動向等によっては、わが国の株式に直接投資する場合があります。実質的な株式の組入比率は信託財産総額の50%超を基本とし、実質的な株式以外の資産への投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。 ④資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
収益分配方針	原則として分配は行いません。
信託期間	無期限
委託会社	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
設定日	2010年3月10日
決算日	毎年12月20日(年1回、休業日の場合は翌営業日)

(2023年12月20日現在)

10. スパークス・集中投資・日本株ファンドS〈適格機関投資家限定〉

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2022年12月21日～2023年12月20日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	522円 (463) (35) (24)	0.82% (0.73) (0.06) (0.04)
(b) 売 買 委 託 手 数 料	26	0.04
(c) そ の 他 費 用	3	0.01
合 計	551	0.87

期中の平均基準価額は63,354円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・その他費用は、監査費用です。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■ 組入資産の明細

(2023年12月20日現在)

	当期末
スパークス集中投資戦略マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

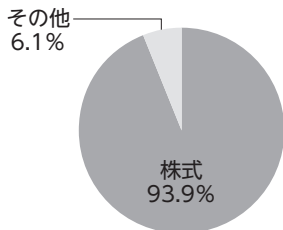
<ご参考> スパークス集中投資戦略マザーファンド

■組入上位10銘柄

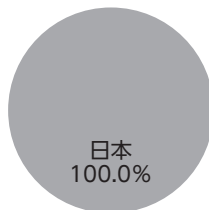
(2023年12月20日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	MARUWA	9.2
2	京成電鉄	6.0
3	マックス	6.0
4	東洋炭素	5.7
5	ライフドリンク カンパニー	5.0
6	トーセイ	4.7
7	メック	4.3
8	サイゼリヤ	3.2
9	全国保証	3.1
10	ニチハ	3.1
組入銘柄数		32銘柄

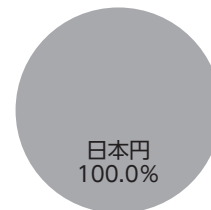
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

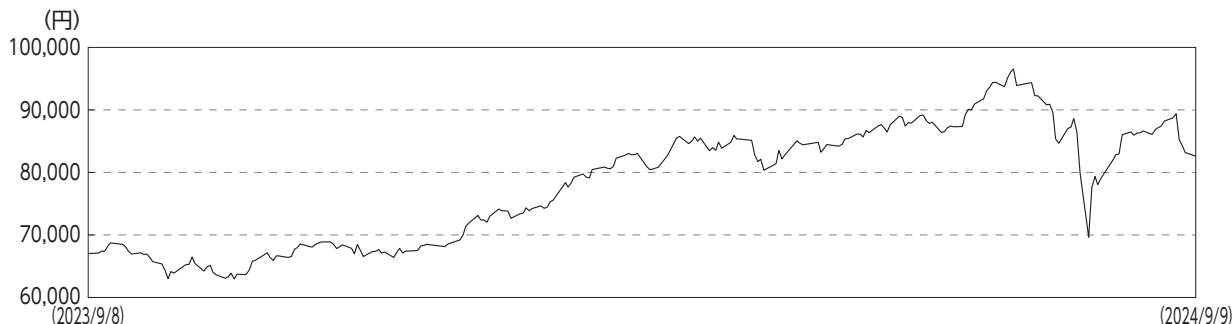
11. スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信/国内/株式
ファンド形態	通貨：日本円/ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行います。
主な投資対象・制限	わが国の株式を主要投資対象とします。 ①株式への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資は行いません。
投資態度	①わが国の金融商品取引所(金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所をいいます。)に上場している株式の中から、ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断した銘柄に集中的に投資を行うことを基本とします。 ②ファンドの資金動向や市況動向等に急激な変化が生じたとき、ならびに残存元本が運用に支障をきたす水準になったとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。
収益分配方針	原則として分配は行いません。
信託期間	無期限
委託会社	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
設定日	2011年9月9日
決算日	毎年9月8日(年1回、休業日の場合は翌営業日)

(2024年9月9日現在)

11. スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2023年9月9日～2024年9月9日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	697円 (673) (-) (24)	0.88% (0.85) (-) (0.03)
(b) 売買委託手数料	17	0.02
(c) その他費用	3	0.00
合計	717	0.91

期中の平均基準価額は78,987円です。

■組入上位10銘柄

(2024年9月9日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	セブン&アイ・ホールディングス	10.0
2	オリックス	9.9
3	日立製作所	8.3
4	リクルートホールディングス	6.8
5	ソニーグループ	6.4
6	三菱UFJフィナンシャル・グループ	6.0
7	三菱商事	5.4
8	信越化学工業	5.4
9	東京海上ホールディングス	5.1
10	ルネサスエレクトロニクス	4.1
組入銘柄数		21銘柄

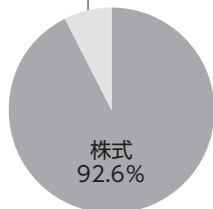
・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

・その他費用は、監査費用です。

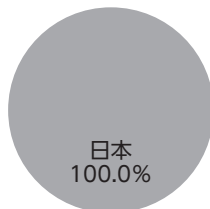
・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

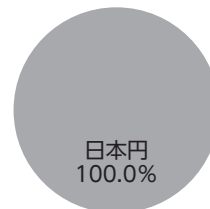
■資産別配分

その他
7.4%

■国・地域別配分

日本
100.0%

■通貨別配分

日本円
100.0%

・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、ファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

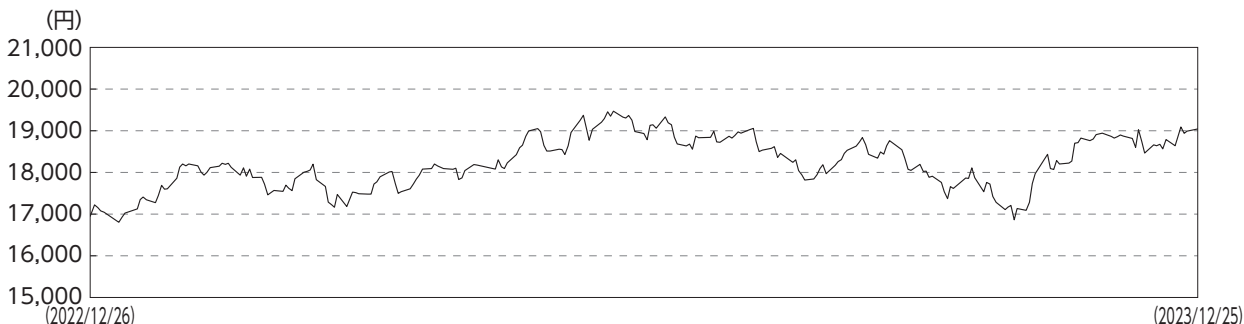
12. コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

投資信託協会分類	追加型投信/国内/株式
ファンド形態	通貨：日本円/ファンド籍：日本(適格機関投資家限定)
ファンドの目的 (基本方針)	当ファンドは、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うものです。
主な投資対象・制限	「コムジェスト日本株式マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。 株式への実質投資割合には制限を設けません。
投資態度	①当ファンドはファミリーファンド方式により「コムジェスト日本株式マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通して、日本株式に投資し、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ②マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本としますが、相場環境によってはマザーファンドの組入比率の調整を行います。 ③有価証券先物取引等を行いません。 ④有価証券の貸付は行いません。 ⑤当ファンドの運用を行うコムジェスト・アセットマネジメントは、マザーファンドの運用の指図に関する権限をコムジェスト・エス・エー社に委託しています。また、コムジェスト・エス・エー社は当ファンドの運用に当たり、当社から日本市場に上場する企業が発行する株式および新株予約権、不動産投資信託にかかる投資助言を受領します。
収益分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。
信託期間	無期限
委託会社	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
設定日	2016年3月10日
決算日	毎年12月25日(年1回、休業日の場合は翌営業日)

(2023年12月25日現在)

12. コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

■ 基準価額の推移



■ 1万口当たりの費用明細

(2022年12月27日~2023年12月25日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	155円 (100) (50) (6)	0.85% (0.55) (0.27) (0.03)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	5 (5)	0.03 (0.03)
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.00 (0.00) (0.00)
合 計	161	0.89

期中の平均基準価額は18,146円です。

- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第2位未満は四捨五入しております。

■ 組入資産の明細

(2023年12月25日現在)

	当期末
コムジェスト日本株式マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

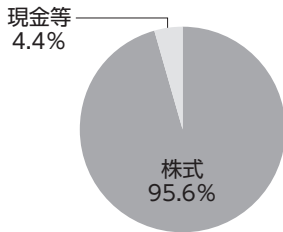
<ご参考> コムジェスト日本株式マザーファンド

■組入上位10銘柄

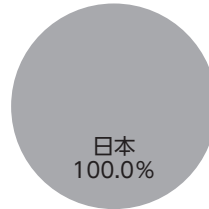
(2023年12月25日現在)

	銘柄名称	投資比率 (%)
1	信越化学工業	4.2
2	レーザーテック	4.2
3	パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス	4.1
4	ソニーグループ	4.0
5	ファーストリテイリング	3.5
6	キーエンス	3.4
7	第一生命ホールディングス	3.3
8	神戸物産	3.3
9	ダイフク	3.3
10	東京エレクトロン	3.2
組入銘柄数		40銘柄

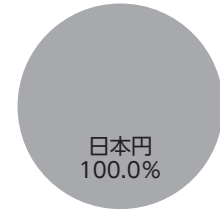
■資産別配分



■国・地域別配分



■通貨別配分



- ・投資比率は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は、実際に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価金額の比率です。
- ・国・地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

- ・作成時点において、入手可能な各ファンドの直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。
- ・特に指定がない場合、投資比率はファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・単位未滿を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIヨーロッパ・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、ヨーロッパの先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIアジア・パシフィック・エクスジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、太平洋地域の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、先進国と新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・S&P500はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス(S&PDJI)の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&PDJIに帰属します。S&PDJIは当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&PDJIは当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&PDJIは当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&PDJIはファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード 米国オポチュニティファンド	→ 米国オポチュニティ
アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	→ AB米国株式集中
BBH・ルクセンブルグ・ファンズ -BBH・コア・セレクト	→ BBH・コア・セレクト
FSSAアジア・パシフィック株式ファンド	→ FSSAアジア
フォントベル・ファンド-mtxサステナブル・エマージング・マーケット・リーダーズ	→ Vontobel mtX エマージング
スチュワート・インベスターズ・グローバル・エマージング・マーケット・オールキャップ・ファンド	→ SIグローバルエマージング
フォントベル・ファンド-USエクイティ・クオリティ・グロース	→ Vontobel 米国株式
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド80(適格機関投資家限定)	→ コムジェスト・ヨーロッパ
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド90(適格機関投資家限定)	→ コムジェスト・エマージング
スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>	→ スパークス・集中投資
スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>	→ スパークス・長期厳選
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	→ コムジェスト日本株式

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR & I が保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リッパー・リーダー・レーティング) システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。LSEG Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

ウエルスアドバイザーアワード「新NISA成長投資枠WA優秀ファンド賞」は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、ウエルスアドバイザーが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はウエルスアドバイザー株式会社に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

新NISA成長投資枠「WA優秀ファンド賞」については、https://www.wealthadvisor.co.jp/event/wa_award2023/をご覧ください。

当賞は国内公募追加型株式投資信託のうち、2023年12月29日における『NISA 成長投資枠登録のアクティブファンド』を選考対象として独自の分析に基づき、各部門別に総合的に優秀であるとウエルスアドバイザーが判断したものです。セゾン資産形成の達人ファンドが選出された国際株式型(グローバル)部門は、選考対象ファンドのうち、同年11月末において当該部門に属するファンド307本の中から選考されました。

※ウエルスアドバイザー株式会社(旧モーニングスター株式会社)

1998年3月27日の設立以来、約25年にわたり、国内の投資信託を中心とした金融商品評価事業を行ってまいりました。2023年3月30日付で米国 Morningstar, Inc. ヘブランドを返還し、以降、引き続き中立・客観的な立場で、投信評価事業をウエルスアドバイザー株式会社で行っております。